

一般財団法人 共立国際交流奨学財団  
2025(令和 7)年度事業報告書  
(2025年4月1日～2026年3月31日)

## I. 財団の管理・運営

### ■寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金(使途不特定、但し一部は(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金指定)・ヤングスチール株式会社からの寄附金(ヤングスチール(株)奨学金指定)・個人3名からの寄附金(現地支給奨学金指定)を受け入れました。

### ■会議の開催

開催日	会議名	議題	出席者
2025年 6月6日	第41回理事会	第1号議案 令和6年度事業報告 第2号議案 令和6年度決算報告 第3号議案 令和6年度公益目的支出 計画実施報告 第4号議案 評議員選定委員会委員の 選任 第5号議案 評議員候補者の推薦 第6号議案 評議員会の招集	理事 6名 監事 2名
2025年 6月24日	第34回評議員会	第1号議案 令和6年度事業報告 第2号議案 令和6年度決算報告 第3号議案 令和6年度公益目的支出 計画実施報告 第4号議案 監事の選任 第5号議案 評議員候補者の推薦	評議員 5名 理事長
	第10回評議員 選定委員会	第1号議案 評議員の選任	委員 5名 理事長
2026年 3月6日	第42回理事会	第1号議案 令和8年度事業計画 第2号議案 令和8年度収支予算 第3号議案 令和8年度奨学生選考 第4号議案 評議員会の招集	理事 7名 監事 2名
2026年 3月16日	第35回評議員会	第1号議案 令和8年度事業計画 第2号議案 令和8年度収支予算	評議員 6名 理事長

### ■内部統制の整備

(「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 90 条第 4 項第 5 号及び同法施行規則第 14 条に規定する体制の整備)

決定及び決議は特にありません。

## II. 奨学金支給事業(継続事業1)

### ■留学生奨学金の支給

アジア国籍を持つ私費留学生を対象に日本での生活・学習を支援するための奨学金を 1 年間支給しました。

奨学金名	金額	人数
一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金	月額 100,000 円	25 名
株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金	月額 60,000 円	30 名
ヤングスチール株式会社奨学金	月額 60,000 円	2 名

### ■現地支給奨学金の支給

カンボジア・ベトナム・ラオスの各国で、日本への留学を目指して日本語を学んでいる学生への学習支援を目的として寄付を募り、給付いただいた方の指定する名称の奨学金を支給しました。(年額 15,000 円)

奨学金名	寄付者名	支給国・人数		
		カンボジア	ベトナム	ラオス
KANAMACHI 奨学金	匿名希望	1 名	1 名	1 名
椀奨学金	匿名希望	1 名	1 名	1 名
RHEE 奨学金	匿名希望	1 名		1 名
GOTOH 奨学金	匿名希望	1 名	1 名	
支度屋奨学金	平石拓也 様			1 名
グローバルチアアップ奨学金	高木祐子 様		1 名	

### ■第 33 回奨学金選考委員会の開催(2026 年 2 月 26 日)

奨学金対象校から推薦のあった応募者 377 名について、選考委員 4 名による審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金 25 名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 30 名、ヤングスチール(株)奨学金 2 名の合計 57 名を 2026 年度奨学生候補者として選考しました。

### Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業(継続事業2)

#### ■出版物の発行

各種出版物を発行し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに無償配布しました。

発行日	出版物名	部数
2025年 4月25日	情報誌「アジア文流」Vol.57	560部
2025年 7月30日	財団紹介パンフレット「紹介・情報案内」Vol.32	1250部
2025年 11月4日	財団紹介パンフレット「紹介・情報案内」Vol.32 改訂版	940部
2025年 11月11日	情報誌「アジア文流」Vol.58	520部
2026年 3月9日	留学生のための日本生活案内「留学生生活手帳」第13版	1700部
2026年 3月11日	留学生のための就職情報誌「共立・桜」Vol.26	1520部

#### ■就職支援

日本での就職を目指す留学生(当財団の奨学生、奨学生 OBOG)を対象に個別相談等の就職サポートを行いました。

### Ⅳ. 国際交流活動への支援(継続事業3)

#### ■日本語体験コンテスト(大韓民国)

大韓民国の高校生を対象として、1週間にわたり日本の北関東・甲信越地域(茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟)の教育機関(大学・専門学校・日本語学校2校以上)や文化施設、地域名所(1か所以上)を日本語を使って取材し、その内容をSNSを通じて韓国内に発信するという企画を募集しました。

入賞者には取材体験の費用として1名あたり20万円の賞金が支給され、体験取材を通して日本への理解を深め、日本での進学、就職の夢への第一歩を踏み出すための支援を行いました。

開催日	事業名	応募者	入賞者
2025年 6月21日	第28回「日本語体験コンテスト in 北関東・甲信越(6県)」	21名	9名

## ■日本語体験コンテスト(6 か国)

日本語教育機関で勉強している学生を対象にしたスピーチコンテスト「日本語体験コンテスト」は、昨年度に引き続き 6 か国で開催されました。

入賞者には「夢・日本体験賞」として日本体験旅行(2026年1月18日～26日)に参加する権利が与えられ、実際に日本での生活や文化を体験することで、日本への理解を深め、日本留学の夢への第一歩を踏み出すための支援を行いました。

開催日	事業名	応募者	入賞者
2025年 8月21日	第13回「日本語体験コンテスト in プノンペン」	68名	5名
2025年 8月23日	第13回「日本語体験コンテスト in バンコク」	100名	5名
2025年 9月20日	第23回「日本語体験コンテスト in 成都」	87名	5名
2025年 10月3日	第12回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」	64名	5名
2025年 10月5日	第11回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」	72名	5名
2025年 10月18日	第18回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」	62名	5名

## ■研修会

留学生・日本人学生を対象とした研修会を北海道・沖縄で開催し、ホームステイプログラムや自然とのふれあいを通して参加学生に日本の歴史や生活文化を学び、日本をより深く理解する機会を提供しました。また、参加学生同士の国際的な友好の輪を広げる一助にもなっています。

開催日	事業名(協力団体名)	参加者
2025年 8月30日～9月3日	2025年8月 北海道・標津研修会 (一般社団法人南知床標津町観光協会)	10名
2025年 9月8日～13日	2025年9月 沖縄・東村研修会 (NPO 法人東村観光推進協議会)	38名
2026年 2月16日～20日	2026年2月 北海道・標津研修会 (一般社団法人南知床標津町観光協会)	17名
2026年 2月27日～3月3日	2026年2月 北海道 鶴居村・釧路研修会 (株式会社丘の上のわくわくカンパニー)	14名
2026年 3月2日～7日	2026年3月 沖縄・伊江島研修会 (一般社団法人伊江島観光協会)	34名

## V. 日本語教育施設の設置及び運営

カンボジアのシエムリアップに設立した合弁会社 Hikari-Kyoritsu International School co.,Ltd において、日本語教育を実施しました。

## VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、学生寮の運営を行いました。

物件名	所在地	室数
つつじが丘男子学生会館 ▶株式会社共立メンテナンスに管理委託	東京都調布市	56 室
学習奨励寮 ▶株式会社共立メンテナンスから一括借上げ	全国 8 地域	700 室
ドーミー相模大野(旧名称:相模大野学生会館) ▶株式会社共立メンテナンスとサブリース契約	神奈川県相模原市	121 室

## 事業報告附属明細書

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の内容である「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特段存在しない。

令和 8 年 6 月  
一般財団法人 公立国際交流奨学財団